

大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

9月号



2学期、スタート!!地域とともに「SDGs」を深く学ぶ

爽やかな秋風が心地よく感じられる季節となりました。9月は、子どもたちの活発な学びと活動に満ちた1か月となりました。特に、多くの学年が地域の方々にご指導いただきながら、「SDGs（持続可能な開発目標）」を意識した体験的な学習を深めることができました。10月には、「SDGs参観日」を予定していますが、9月はそのテーマに繋がる活動が数多く展開されました。



1. 地域の資源を守り、環境を考える活動

【EMだんご作り・投入】

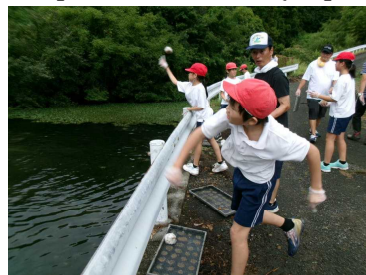
上喜来地域資源保全隊の皆様のご指導のもと、EMだんごを1400個も作り、地域の池に投入しました。子どもたちは、濁った水がきれいになる実験を通して学び、自分たちの活動が水質改善や環境美化、さらにはお米づくりにも役立つことを実感しました。投入後の「水質は変わったか?」「どんな生物がいるか?」といった質問は、探究心の深まりを感じさせました。



【EMだんごについて学ぶ】

【循環型農業の学習】

あぐりアワー緑の会の皆様から、「環境にやさしいお米づくり」として循環型農業についてお話を聞きました。除草剤を使わない工夫やドローン・アイガモロボットの話など、環境に配慮した農業のあり方を学び、SDGsへの関心を高めました。



【EMだんごの投げ入れ】

2. 食と命、多様性の学び

【キッズ野菜ソムリエ】

「ぶどうの食べ比べ」（6種類）を通し、見た目・香り・味・食感の違いから、それぞれの「いのちの美味しさ」を発見しました。

【食育パワーアップ】

学校給食センターの皆様による学習では、「食」の大切さを再確認しました。健康な体と食生活について深く考えました。



【循環型農業について学ぶ】



10月5日（日）は、SDGsについて学習する「SDGs参観日」を予定しております。持続可能な社会の実現に向け、子どもたちが、何に気づき、どのように考え、どのような行動を实践しようとしているのか、ぜひご覧いただければ幸いです。



【ぶどうの比較】